



2019年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年10月12日

上場会社名 株式会社 エムビーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 栗山 征樹

TEL 0836-54-1414

四半期報告書提出予定日 2018年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第1四半期の業績(2018年6月1日～2018年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第1四半期	608	19.1	13	85.6	28	71.9	18	73.5
2018年5月期第1四半期	752	52.7	91	144.9	102	122.6	70	122.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第1四半期	2.55	2.41
2018年5月期第1四半期	9.63	9.24

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第1四半期	2,627	1,853	70.5	254.44
2018年5月期	2,850	1,835	64.3	252.03

(参考) 自己資本 2019年5月期第1四半期 1,851百万円 2018年5月期 1,833百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首より適用しており、2018年5月期については、遡及処理後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		0.00	0.00
2019年5月期					
2019年5月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,563	11.8	172	3.3	196	3.8	134	3.6	18.48
通期	3,400	12.7	405	30.1	438	14.0	300	5.2	41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期1Q	7,275,000 株	2018年5月期	7,275,000 株
期末自己株式数	2019年5月期1Q	株	2018年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期1Q	7,275,000 株	2018年5月期1Q	7,275,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご多用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外の政治や経済動向に懸念が残るなど、依然として不透明感を払拭できない状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費等の建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、新たに2018年6月に仙台支店（宮城県）を設置するとともに、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

しかしながら、西日本豪雨や度重なる台風の影響により、建築工事業での完工時期の遅れによる期ずれが発生しております。また、ホームメイキャップ事業でも、災害への対応に伴う支出の増加により売上総利益率が減少いたしました。

これらにより、当第1四半期累計期間における売上高は608,856千円（前年同期比19.1%減）となり、営業利益は13,183千円（同85.6%減）、経常利益は28,873千円（同71.9%減）、四半期純利益は18,552千円（同73.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の減少により、売上高は601,380千円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は75,345千円（同42.3%減）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等の減少により、売上高は6,573千円（前年同期比94.8%減）、セグメント損失は4,718千円（前年同期は16,424千円のセグメント利益）となりました。

(その他)

F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は902千円（前年同期比333.7%増）、セグメント利益は81千円（同113.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ223,022千円減少し、2,627,102千円となりました。これは主に、未成工事支出金の110,254千円の増加、現金及び預金の173,547千円の減少、完成工事未収入金の115,175千円の減少等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ240,567千円減少し、773,655千円となりました。これは主に、未払法人税等の61,175千円の減少、支払手形の49,074千円の減少、買掛金の19,316千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ17,544千円増加し、1,853,447千円となりました。これは主に、利益剰余金の18,552千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年7月9日に発表いたしました2019年5月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	761,521	587,974
受取手形	204,726	120,557
完成工事未収入金	420,745	305,569
売掛金	10,492	63,884
未成工事支出金	152,004	262,258
仕掛販売用不動産	6,464	6,464
原材料及び貯蔵品	42,831	24,038
その他	32,449	46,914
貸倒引当金	△6,633	△5,434
流動資産合計	1,624,602	1,412,228
固定資産		
有形固定資産		
土地	359,132	359,132
その他(純額)	260,717	251,698
有形固定資産合計	619,850	610,831
無形固定資産	22,049	20,848
投資その他の資産		
投資有価証券	289,200	287,751
その他	304,140	305,061
貸倒引当金	△9,718	△9,618
投資その他の資産合計	583,622	583,194
固定資産合計	1,225,522	1,214,874
資産合計	2,850,125	2,627,102
負債の部		
流動負債		
支払手形	203,055	153,981
工事未払金	175,330	173,087
買掛金	66,717	47,401
1年内返済予定の長期借入金	83,272	68,312
未払法人税等	72,102	10,926
完成工事補償引当金	19,455	21,015
その他	200,092	111,617
流動負債合計	820,025	586,340
固定負債		
長期借入金	144,816	137,708
その他	49,381	49,606
固定負債合計	194,197	187,314
負債合計	1,014,222	773,655

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第1四半期会計期間 (2018年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,164	335,164
資本剰余金	343,931	343,931
利益剰余金	1,099,137	1,117,689
株主資本合計	1,778,232	1,796,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,270	54,262
評価・換算差額等合計	55,270	54,262
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,835,902	1,853,447
負債純資産合計	2,850,125	2,627,102

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2017年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年8月31日)
売上高	752,733	608,856
売上原価	513,125	425,082
売上総利益	239,607	183,774
販売費及び一般管理費	147,935	170,591
営業利益	91,671	13,183
営業外収益		
不動産賃貸収入	721	1,917
有価証券利息	3,149	3,190
売電収入	13,285	14,511
その他	2,874	2,839
営業外収益合計	20,030	22,458
営業外費用		
支払利息	551	534
売電費用	1,323	510
減価償却費	6,082	5,435
その他	1,074	287
営業外費用合計	9,031	6,768
経常利益	102,670	28,873
税引前四半期純利益	102,670	28,873
法人税、住民税及び事業税	31,435	8,667
法人税等調整額	1,182	1,653
法人税等合計	32,618	10,320
四半期純利益	70,052	18,552

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2017年6月1日 至 2017年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	626,368	126,156	752,524	208	752,733
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	626,368	126,156	752,524	208	752,733
セグメント利益	130,612	16,424	147,036	38	147,075

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	147,036
「その他」の区分の利益	38
全社費用(注)	△55,403
四半期損益計算書の営業利益	91,671

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイ キャップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	601,380	6,573	607,954	902	608,856
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	601,380	6,573	607,954	902	608,856
セグメント利益又は損失(△)	75,345	△4,718	70,626	81	70,707

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	70,626
「その他」の区分の利益	81
全社費用(注)	△57,524
四半期損益計算書の営業利益	13,183

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。